

「2019年度 第1回 明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会」における主な意見と回答

No	主な意見	回答
(1)	鉄道駅や道路等で工事が行われると、普段とは歩行するルートが変わり、視覚障害者は戸惑ってしまう。工事内容が視覚障害者にもきちんと伝わる告知方法について検討をしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 当事者の方をはじめ、様々な方への「情報提供のあり方」については、重要なテーマの一つと考えております。当事者の方に影響を与える工事情報の提供や公共施設における情報提供について、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」策定の過程において、検討を進めて参ります。（明石市）
(2)	公共施設の見学等に行った際に、説明用の動画が流れているが、動画に字幕がなく、聴覚障害者は内容が理解できない。	
(3)	重度の障害者は、車両後部（バックドア）から車いすを乗降することもあるので、駐車場や乗降スペースを整備する際には、幅員だけではなく、奥行も確保するようにしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 車いす利用者等にとって駐車場の利便性を高めることは重要であり、整備にあたっては、ユーザビリティを高めるため、当事者視点に立った設計を行うことが必要であると考えております。 駐車場の奥行の確保については、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」策定の過程において、検討を進めて参ります。（明石市）
(4)	最新のハザードマップが市域全世帯に配布されたが、防災とユニバーサルデザインの整合性はどうか。小学校は避難所でもあるので、防災の視点からも取り入れを検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインのまちづくりと、災害時要配慮者への支援は、密接に関連すると考えております。避難所のバリアフリー化やコミュニケーションツールの充実等による災害時要配慮者の支援について、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」において方針を定めるよう、検討を進めて参ります。（明石市）
(5)	江井ヶ島駅周辺地区では、江井島小学校区を中心にバリアフリー経路を設定し、地域での情報共有や、避難経路の点検等を行っている。地域発案型の移動等円滑化促進地区の設定についても検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 地域で独自に取り組まれているバリアフリーマップ等の情報を広く共有するための仕組みについて、検討を進めて参ります。 また、各地域における取組との連携については、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」策定の過程において検討を進めて参ります。（明石市）
(6)	「（仮称）ユニバーサルツーリズムセンター」の多目的トイレは施設外から直接アクセスできないのか。室内にあると、車いすで多目的トイレに入る際に、方向転換が困難な場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> 現在の計画では、多目的トイレの出入口には幅員90cmの自動ドアを設置し、出入口周辺は方向転換が行えるような十分なスペースを確保する予定です。設置場所については、防犯や施設管理などの観点から、室内に配置するよう設計を進めております。（明石市）